

題名：横浜労災病院で急性胆管炎に対する内視鏡治療を受けた患者様へ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	待機的胆道ドレナージを選択した軽症および中等症急性胆管炎の重症化に関するリスク因子の検討(-)
当院の研究責任者 (所属)	松本彰太 (消化器内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	横浜労災病院における、軽症および中等症の急性胆管炎と診断された患者様で、翌日に重症化する方のリスク因子があるか、検討します。
研究の方法 (利用する試料・情報)	横浜労災病院で2019年4月から2024年11月にかけて軽症および中等症の急性胆管炎と診断し、待機的EBDを施行した197例を対象とし、重症度が悪化した群と悪化しなかった群の2群に分け、患者背景、理学所見、検査所見、胆管炎の原因、内視鏡的胆道ドレナージまでの時間、入院期間、内視鏡合併症を後方視的に検討します。電子カルテで検索・情報収集します。 研究実施期間：倫理委員会承認後～ 2027年3月
利用する試料・情報の 該当期間	2019年4月から2024年11月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：松本彰太 (所属：消化器内科)
備考	